●目 次●

はしかき ····································		
● 第1	章 東大英語の求める 英語の正体 9	
No. 1	東大英語の求めるものとは (その1): 短絡的考えは禁物!10	
No. 2	東大英語の求めるものとは (その2): 拾い読みの禁止14	
No. 3	東大英語の求めるものとは (その3): 半端な知識は命とり $\cdots 16$	
No. 4	東大英語の求めるものとは (その4): 英語は左から読む18	
No. 5	東大英語の求めるものとは (その5):等位接続詞の重要性 20	
No. 6	東大英語の求めるものとは (その6): 関係詞が本当に理解できているか? \cdots 22	
No. 7	東大英語の求めるものとは (その7):指示語確認の重要性24	
No. 8	東大英語の求めるものとは (その7):「何と違うのか」 を確認しているか? $\cdots 28$	
● 第2	章 東大の和訳&文法問題が教えてくれる 英文の基本構造 31	
No. 9	その解釈では \mathbf{NG} (その1):辞書には親しめ、されど辞書に頼るな $\cdots 32$	
No. 10	その解釈では \mathbf{NG} (その2):「名詞構文」は名詞で訳せばよいのか? $\cdots 36$	
No. 11	その解釈では NG (その3): 基礎知識の活用 $\&$ 情報構造 $\cdots 40$	
No. 12	文の要素 (SOC) の把握: 動詞1つに対し、主語は1つ46	
No. 13	動詞の主語は?:基本中の基本だが上級者でも忘れがち48	
No. 14	動詞は主語の後ろとは限らない:主語の位置は?	
No. 15	隠れたSV構造の発見:〈主語 — 述語〉の埋め込み ······54	
No. 16	It is ときたら (その1):〈強調〉の本当の意味は? ·······58	
No. 17	It is ときたら (その2): 形だけから入ると	
No. 18	関係詞 (その1): どこからが関係詞節か確かめているか? $\cdots \cdot $	
No. 19	関係詞(その2): 先行詞の元の位置をあやふやにしていないか?70	
No. 20	関係詞(その3): 先行詞は本当はどれか?	
No. 21	比較構文の真相(その1): 比較対象を常に確認しているか?78	
No. 22	比較構文の真相 (その2): 比較対象が一瞬不明の場合はどうするか? 82	

● 第3章 東大の読解問題が教えてくれる 英文読解の基本論理 87

No. 23	英文読解の基本論理(その1):因果関係をしっかりつかんでいるか?88
No. 24	英文読解の基本論理(その2):抽象 → 具体
No. 25	英文読解の基本論理 (その3):逆接語の後には常に注目せよ $\cdots \cdots 96$
No. 26	英文読解の基本論理 (その4): 二項対立 (1)
No. 27	英文読解の基本論理 (その5): 二項対立 (2)
No. 28	英文読解の基本論理 (その6): 二項対立 (3)
No. 29	言い換えに注目せよ (その1): 指示語代名詞に注目 ·························122
No. 30	言い換えに注目せよ (その2): 指示語は前文の抽象化 (1) ··················126
No. 31	言い換えに注目せよ (その3): 指示語は前文の抽象化 (2) ·······················134
No. 32	〈具体 ➡ 抽象〉の場合もある: 具体例を抽象化 [一般化]138
No. 33	冠詞が表す情報構造:不定冠詞は「未知との遭遇」144
● 第4	章 東大の要約問題で学ぶ 英文読解の論理 153

No. 34	Topic Sentenceはどれか?: One Paragraph = One Topic Sentence …	154
	〈抽象 ➡ 具体〉、〈具体 ➡ 抽象〉(その1): 具体例の抽象化	
No. 36	〈抽象 ➡ 具体〉、〈具体 ➡ 抽象〉(その2): 例は読み飛ばす???	166
No. 37	逆接 ➡ 抽象 ➡ 具体: 逆接語の後の展開に注目	174
No. 38	具体から抽象へ(その1): 例を先に述べる場合もある	178
No. 39	具体から抽象へ(その2): 共通点を抽象化	184
No. 40	自説の主張:相手の主張の穴を突く	190
No. 41	対比 (その1): 対立軸をとらえよ! (1)	196
No. 42	対比 (その2): 対立軸をとらえよ! (2)	202
No. 43	対比 (その3): 過去と現在	208
No. 44	対比 (その4): 他説と自説	214
No. 45	対比 (その5): 視点の切り替え	220

● 第5章 東大の脱文 [パラグラフ] 挿入問題で 読解論理の再確認 227

No. 46	脱又挿人(その1):情報構造の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	228
No. 47	脱文挿入(その2):指示語やDiscourse Marekerに注目せよ ······	232
No. 48	論旨と関係の薄い文 (その1): Topic Sentence との関係に注目	236
No. 49	論旨と関係の薄い文(その2):例を読み飛ばすとどうなるか	240

No. 50 No. 51 No. 52	脱パラグラフ挿入: 情報構造の活用(その1) ························256				
●第	6章 東大の総合問題で学ぶ 英文正読の集大成 <i>285</i>				
No. 53 No. 54					
No. 55					
コラム					
	情報構造の重要性 (1): その考え方30				
2	指示語・代名詞確認の重要性86				
3	「論理関係」を示す主な Discourse Marker ······ 152				
4	情報構造の重要性(2): 文末焦点				
5	同じ表現の繰り返しを避ける:別の語句・表現への言い換え284				
6	登場人物の心理描写343				